

気候変動を踏まえた浸水対策検討部会の活動報告

1 概要

「気候変動を踏まえた浸水対策検討部会」では、新たな浸水対策プランを策定するにあたり、浸水対策の目標、整備優先度の考え方など、プランの骨格となる論点を審議しました。様々なご意見をいただき、その内容を踏まえ、「横浜市下水道浸水対策プラン」を策定し公表しました。

2 委員構成

部 会 長：森田 弘昭氏（日本大学生産工学部土木工学科 教授）

委 員：加藤 裕之氏（東京大学大学院 工学系研究科特任准教授）

専門委員：石川 永子氏（横浜市立大学国際教養学部 都市学系 准教授）

3 検討部会の審議状況

	日 程	主な審議事項
第 9 期経営研究会	令和 5 年 4 月 28 日	「気候変動を踏まえた浸水対策検討部会」の設置について
第 1 回検討部会	令和 5 年 6 月 5 日	浸水対策の目標 ●防災目標（浸水を防ぐ目標）の設定 気候変動の影響を踏まえ、施設整備の対象とする降雨（目標整備水準）を 1.1 倍に強化 ➤ 自然排水区域：47.2 mm/hr⇒51.9 mm/hr、 ➤ ポンプ排水区域：57.9 mm/hr⇒63.7 mm/hr、 ➤ 特別地区（横浜駅周辺地区）：74.2 mm/hr⇒81.6 mm/hr ●減災目標の設定 甚大な被害を防ぐ目標：100 mm/hr、床上浸水の概ね防止 命 を 守 る 目 標：153 mm/hr、安全な避難の確保
第 2 回検討部会	令和 5 年 7 月 5 日	整備優先度の考え方 ●浸水が発生した地区に加え、浸水リスクが高い地区から施設を整備 ●浸水リスク（浸水想定と浸水の影響度）の評価
第 3 回検討部会	令和 5 年 8 月 24 日	整備優先度の考え方 ●浸水想定及び浸水の影響度の評価
第 9 期経営研究会 （最終）	令和 5 年 10 月 30 日	気候変動を踏まえた浸水対策検討部会の活動報告 （中間）
第 4 回検討部会	令和 5 年 11 月 29 日	浸水対策プラン（素案）

4 横浜市下水道浸水対策プランのポイント

別添 横浜市下水道浸水対策プラン参照